

臨床研究に関する情報公開

福島県立医科大学整形外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【研究課題名】 Spine Pain DETECT の妥当性およびカットオフ値の探索的検討：
診断検査に関する Web 調査

【研究期間】 平成 28 年 5 月～平成 30 年 4 月

【研究の意義・目的】

「灼けるような」、「ビーンと痛みが走る」、「刃物で刺すような」と表現される特徴的な痛みを示す神経障害性疼痛は、睡眠不足や不安感などを伴い、生活の質に影響を及ぼします。神経障害性疼痛の診断は複雑で、治療に難渋する場合がありますため、神経障害性疼痛の可能性を早期に推定し、適切な治療を行うことが痛みをコントロールする上で重要です。

神経障害性疼痛の可能性を推定し診断を補助する質問票としてドイツで開発された「Pain DETECT questionnaire (PD-Q)」は、日本語版もあります。腰痛や坐骨神経痛の症状がある脊椎疾患の方のなかで、神経障害性疼痛を有する可能性をより明確に推定できるように、「脊椎版質問票 (SPINE Pain DETECT:SPDQ)」と、簡便に評価できる「簡易版」を作成しました。

本研究は、神経障害性疼痛を有する可能性をより明確に推定できるように、「脊椎版質問票 (SPINE Pain DETECT:SPDQ)」と、簡便に評価できる「簡易版」を使用するための検証を目的としています。そのため、痛みを有している方に、研究への参加をお願いいたします。

【研究の方法】

疾患パネルに登録されている web 参加候補者のうち、選択基準に合致する疾患を有している対象者を選定し、調査内容を配信します。該当の方に、調査項目に回答していただきます。個人情報が含まれないデータでの解析を行います。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	福島県立医科大学医学部整形外科学講座、教授、紺野 慎一
主任研究者	同上 教授、紺野 慎一
研究分担者	同上、 准教授、関口 美穂
	東京大学医学部麻酔科学教室 准教授 住谷昌彦
	ファイザー株式会社 藤井幸一
	ファイザー株式会社 野澤一貴

【他の機関等への試料等の提供について】

個人情報が含まれない回答データは、株式会社 CLINICAL STUDY SUPPORT が回収し、解析を行います。

【研究者が保有する個人情報について】

研究対象者は、個人情報の記載は一切必要がなく、研究者が個人情報を保有すること、個人やそのデータを特定することはありません。

【研究費】

本研究は、ファイザー株式会社が負担し、調査に参加することによる対象者の費用負担はありません。企業と研究者には利益相反はありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

所 属：福島県立医科大学医学部整形外科学講座

職・氏名：主任教授・紺野愼一

直通電話：024-547-1276/ファクス：024-548-5505/E-mail：fortho@fmu.ac.jp

所 属：公立大学法人福島県立医科大学事務局 研究推進課 研究支援担当

直通電話：024-547-1825/ファクス：024-547-1991/E-mail：rs@fmu.ac.jp